

2008年2月26日  
株式会社 オンワード樫山  
〒103-8239 東京都中央区日本橋3-10-5

### **「23区」イメージキャラクターに“菅野美穂”を起用！ 5年ぶりとなるTVCMを3月1日(土)からオンエア 音楽は“RIP SLYME”がオリジナルCMソングを提供**

株式会社オンワード樫山(本社:東京都中央区 代表取締役社長:水野 健太郎)は、主力基幹ブランド「23区」のイメージキャラクターに、女優の菅野美穂(かんの みほ)さんを起用します。新たに展開する広告キャンペーンは、「Walk.23区」をキャッチフレーズに展開。ブランドとして5年ぶりとなるテレビCMを3月1日(土)から全国で開始します。

当社では、経営の基本戦略として、基幹ブランドへの経営資源の集中による収益拡大策を推進しています。その一環として、最大の売上規模(約400億円/’07年度小売ベース)となる「23区」を、当社を代表する最重点強化ブランドと位置付け、さらなるブランド価値の向上に取り組んでいます。

今回の広告キャンペーンでは、CM他、様々な媒体を通じて、「23区」のイメージ構築を行い、ブランドのさらなる成長をめざしていきます。

「23区」は、“TOKYOリアルクローズ”がコンセプト。30歳前後の女性に向けて、シンプル&ベーシックを基本に、リアリティーのあるトレンドを程よく取り入れた高品質なコンテンポラリーカジュアルウェアです。また、商品はポライト&フェミニン(礼儀正しい女性らしさ)をキーワードに、女性らしさ、品の良さ、綺麗さをもも出し出すシンプルリッチなテイストを特徴としています。

菅野美穂さんの起用については、数多くのTVドラマや映画に出演し、幅広い女性から高い支持を得ていることと、「23区」のブランドイメージに通じる品の良さ、聡明さを合わせ持っていることから、イメージキャラクターに相応しいと考え決定しました。

テレビCMは“女性達とともに歩むブランドでありたい”という思いから、「Walk.23区」というキャッチフレーズと女性達が共感できるメッセージをキーに制作。そして、一人でも多くの女性を応援するため、メッセージと映像が異なるCMをブランド名と同じ23タイプ、オンエアいたします。

また、ディレクターは、数々の話題の広告を手掛けてきた箭内道彦(やない みちひこ)氏が担当。菅野さんの素顔の魅力を活かした演出が見所となっています。

音楽は、ヒップ・ホップグループ「RIP SLYME(リップ・スライム)」が、今回のCMのために書き下ろした楽曲(「23区」オリジナルCMソング)を使用します。

## <テレビCM>

# 23区の新CM、23タイプオンエア

### 【共感メッセージで女性達を応援したい】

仕事、恋愛、日常、人生…。

女性達をとりまくテーマを通じて、彼女達が「これ、私のコト」と思ってもらえるようなメッセージをつくりあげていくのが今回のCM企画。

前向きに生きる女性を一人でも多く応援したいという思いから、23タイプのCMをオンエアしていきます。

※3月23日(日)にMTVですべてのタイプをご覧いただけます。

### 【ウォークし続けてくれた菅野美穂さん】

「Walk.23区」というキャッチフレーズを伝えていくため、菅野さんにはトータルで3時間も歩いていただきました。

また、様々な共感メッセージを表現するため、一日の撮影中に笑ったり、怒ったり、悲しんだり…。たくさんの表情を見せてくださいました。

【撮影日】2008年1月24日(木) 【場所】オーストラリア シドニー

### 【代表的なタイプ】

#### Walk篇 A

1年前は、なにを悩んでた？ 半年前は？  
悩みなんて、そんなもの。



#### Walk篇 B

どうして、大丈夫って言っちゃうんだろう。  
ぜんぜん大丈夫じゃないのに。



#### Walk篇 C

このままじゃ、ダメだ。  
そう気づけたことで、前に進めるんだ。



【その他のタイプ】

前ページのA～C以外の20タイプ



本当に好きなものは、好きな理由が見つからないそうです。うーん、たしかに。



つらい恋だったけど、覚えていたい。忘れちゃったら、あの時のじぶんがかわいそうだから。



わたしの笑顔で、世の中を明るくするの。



直感を信じてます。でも、だいたい、はずれちゃう...



メールがやさしくて泣きそうでした。



誰かの人生をマネしてもつままない。



間違えてもいい、自分で答えを出すの。



好きなものを3つ思い出して、ピンチを乗り越えよう。



こっちに進みます。ココロがそう言ってるから。



なんであんなこと言っちゃったんだろう...



無理しないでねって言われると、がんばれちゃう。フシギですよ。



ちょっとした勇気で恋がはじまるっていうけど、その勇気が出ないから、恋なのかも...



やっぱり、やっぱり、やっぱり、気になる。



恋愛ってかっこわるい。でも、そこが、すてきなんですよ。



ぽっかりあいちゃいました。



きょう、わたしのアイドルを見つけました。



待ってても来ないかもしれない。だから、歩きはじめました。



コンプレックスがある。だからがんばれる。



イヤならイヤって言うてよー！



言い訳されると、がっかりしちゃう。

## <ブランドサイト>

### その日の気分にフィットするCM動画を配信

【開設】 3月1日(土)より

【アドレス】 [www.onward.co.jp/23ku/](http://www.onward.co.jp/23ku/)

【内容】 「Walk.23区」CM(オンエア23タイプ + Webスペシャル23タイプ)を  
毎日の気分に合わせて占い感覚で楽しめる特別コンテンツとして用意。

#### 【特別コンテンツの内容】

恋愛・生活・仕事の3つに関する質問の答えに応じて、  
「オンエア23タイプ+Web用23タイプ」という多くのCMの中から、  
その日の気分にあった一本が表示されるという仕組み。  
占い感覚で、その日の気分にぴったりのCMをご覧いただけます。  
また、オープンと同時にユーザーからのコピー投稿を2カ月間募集。  
23本を選出し、当Web上で発表予定。

#### 【トップページ】



#### 【特別コンテンツ】



## <雑誌広告>



## <資 料>

### 【出演】 菅野美穂

- ・プロフィール 生年月日:1977年8月22日 血液型:AB型  
1992年テレビ朝日系バラエティ「桜っ子クラブ」の番組内ユニット「桜っ子クラブさくら組」のオーディションに合格しデビュー。  
1993年テレビ朝日系「ツインズ教師」でドラマデビュー。  
女優として数々のドラマや映画、舞台にも出演するほか、歌手活動、バラエティ番組の出演など多方面に活躍。  
主な作品 映画:「大失恋。」「守ってあげたい!」「化粧師」など  
TVドラマ:「イグアナの娘」「失樂園」「DAYS」「愛をください」  
「ちゅらさん1~3」「働きマン」など  
受賞:98年度エランドール新人賞大賞、98年度ATP賞グランプリ、第7回橋田賞

### 【楽曲】 RIP SLYME

- ・プロフィール  
2001年3月に「STEPPER'S DELIGHT」でメジャーデビュー。02年7月には2nd Album「TOKYO CLASSIC」をリリース。初登場1位の快挙を達成。日本のHIP HOP史上初のミリオンセラーとなる120万枚を記録した。そして05年。デビュー5周年、結成10周年を記念し、シングル13曲を中心にした初のベストアルバム「グッジョブ!」をリリース。初回盤40万枚を3日で完売!!セールス80万枚を突破。07年、まずはSONY VAIO CMソング「I・N・G」を配信限定でリリースし話題に、たて続けに5月には3作目となるDVD作品「Cut It Now!」をリリース。7月にはCOKE+iTunesキャンペーンソング「熱帯夜」をリリース、100万ダウンロードを超える大ヒットとなる。11月にはマクドナルド・Wrap SLYMEキャンペーンソングとして「SPEED KING」をリリース、その3週間後には6枚目となるオリジナルアルバム「FUNFAIR」をリリースし、オリコン初登場2位、翌週6位と2週連続トップ10入りを果たす。そのアルバムを引っさげてのホールツアー「FUNFAIR TOUR 07-08」は10都市13公演、約6万人を動員し、ファイナルの日本武道館3DAYSも大盛況でツアーを終える。言わば、現在も日本のマーケットにおいて、不動の位置をキープしている”HIP HOPモンスター”である。
- ・曲名 「love&hate」
  - 作詞 : RIP SLYME
  - 作曲 : RIP SLYME
  - 編曲 : RIP SLYME
  - 詞 : 愛せてると言える 輝いている様に見える  
あなたがそう思える様に  
前向いてると言える 歩いている様に見える  
あなたがそう感じる様に

### 【制作スタッフ】

代理店	(株)アサツー ディ・ケイ
制作プロダクション	(株)ピラミッドフィルム
プランナー/ディレクター	箭内道彦
エグゼクティブクリエイティブディレクター	小谷野のぞみ
クリエイティブディレクター/コピーライター/プランナー	三井明子
アートディレクター	水野学
アートディレクター/プランナー	新村夏絵
プロデューサー	西村 伸、岩元恭果
プロダクションマネージャー	櫻井京輔
キャスティング	篠田のり子
カメラマン	田島一成
スチールカメラマン	高柳悟
スタイリスト	青木千加子、山田 舞
ヘアメイク	丹羽寛和